

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

1 事業の趣旨・目的

毎年12月に行われる日本語能力試験を受験することを目的に、日本語の資格を得て日本でのキャリアアップにつなげる。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月1日	ソヒゾ・デ・クリアンサ教育センター	栗林 勇 高梨マルシア 太田理重子 妻木 砂織	教室の運営方法 教師の検討	曜日・時間等の確認 教師の手配・スケジュール 教材の決定 授業の進め方
9月27日	ソヒゾ・デ・クリアンサ教育センター	末續晨一郎 佐藤 甚平 栗林 勇 高梨マルシア 太田理重子 妻木 砂織	これまでの経過と授業状況 「日本語能力試験」クラスについての意見 今後の教室運営について	授業を始めてからの問題点(仕事と学習の両立) 外国人に広くこういう授業を行っていることを知らせる方法はないのか

【写真】

3 日本語教室の開催について

- 日本語教室の名称 「チャレンジ！日本語能力試験N4(大人)」
- 開催場所 ソヒゾ・デ・クリアンサ教育センター
- 学習目標 12月に行われる日本語能力試験を受験し、合格すること
- 使用した教材・リソース にほんごチャレンジ3級[ことばと漢字]
にほんごチャレンジ3級[文法と読む練習]
- 受講者の募集方法
チラシを作成し、市役所、ブラジル人学校、ブラジル人の多く利用するスーパーやお店に置いてもらい、配布した。(チラシは別途郵送)
- 受講者の総数 18人
(出身・国籍別内訳 ブラジル 15人, パラグアイ1人)
- 開催時間数(回数) 43.5 時間 (全29回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	5月8日 7:00~8:30	1.5 時間	7人	ブラジル・ポルトガル語 (11人)	教授者1人 補助者1人	3級と4級のクラスに分けるため、過去問題を用意。

②	5月15日	1.5 時間	8人	ブラジル・ポルトガル語 (13人)	教授者1人 補助者1人	テキスト1課・2課(文法)
③	5月22日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (13人)	教授者1人 補助者1人	テキスト3課 3・4級の漢字
④	5月29日	1.5 時間	11人	ブラジル・ポルトガル語	教授者1人 補助者1人	3級の漢字について
⑤	6月5日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (14人)	教授者1人 補助者1人	テキスト4課
⑥	6月12日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (6人)	教授者1人 補助者1人	テキスト6課
⑦	6月19日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (6人)	教授者1人 補助者1人	テキスト5課
⑧	6月26日	1.5 時間	8人	ブラジル・ポルトガル語 (8人)	教授者1人 補助者1人	テキスト7課
⑨	7月3日	1.5 時間	5人	ブラジル・ポルトガル語 (5人)	教授者1人 補助者1人	3・4級の聴解
⑩	7月10日	1.5 時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人 補助者1人	読解1～4
⑪	7月17日	1.5 時間	3人	ブラジル・ポルトガル語 (3人)	教授者1人 補助者1人	テキスト8課 読解5
⑫	7月24日	1.5 時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人 補助者1人	テキスト9・10 読解6
⑬	7月31日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (6人)	教授者1人 補助者1人	テキスト11課
⑭	8月7日	1.5 時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人 補助者1人	テキスト12・13 課
⑮	8月21日	1.5 時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人 補助者1人	テキスト14・15 課
⑯	8月28日	1.5 時間	5人	ブラジル・ポルトガル語 (4人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト15課 動詞、名詞、形容詞のまとめ
⑰	9月4日	1.5 時間	5人	ブラジル・ポルトガル語 (4人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト16課 可能型
⑱	9月11日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (5人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト17課 ～なければならぬ、～なくてもいい
⑲	9月18日	1.5 時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (3人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト18・19 課
⑳	9月25日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (5人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト20課 尊敬語・謙譲語
21	10月2日	1.5 時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト21課 ～つもりだ ～ようだ
22	10月16日	1.5 時間	5人	ブラジル・ポルトガル語 (4人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト22・23 課
23	10月23日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (5人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト23課 ～より～の方が ～と～どどちらが
24	10月30日	1.5 時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (5人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト24課 意向形の作り方 読解

25	11月6日	1.5時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (6人)	教授者1人 補助者1人	テキスト25課 受身の作り方
26	11月13日	1.5時間	6人	ブラジル・ポルトガル語 (5人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト25・26・27課 未来、現在進行、過去+ところ
27	11月20日	1.5時間	3人	ブラジル・ポルトガル語 (2人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	テキスト27課 使役受身形
28	11月27日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (3人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	〜ほど+否定形 〜れば〜ほど 文型の復習
29	12月4日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (3人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人 補助者1人	模擬テスト 70〜80%の正 解率だった

⑨ 特徴的な授業風景(2〜3回分)

第6回 6月12日(土) 講師 中野江美子

第4課「あげ・もらい、くれます」の復習

第6課「〜てあげます、くれます、もらいます」プリントを使って学習したが、混乱していた。

語彙の中の「〜おきに」が少し難しかった。

第14回 8月7日(土) 講師 八木みどり

第12課「〜ば、〜なら」順接仮定条件、一般条件の接続助詞を自作プリントを使って説明。

動詞の条件形の活用を学習。な形容詞なのに「い」で終わるものの一覧、動詞のた形の一覧の要望を受けた。

日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 「チャレンジ！日本語能力試験N3(大人)」
- ② 開催場所 ソヒゾ・デ・クリアンサ教育センター
- ③ 学習目標 12月に行われる日本語能力試験を受験し、合格すること
- ④ 使用した教材・リソース 「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN3(漢字)
「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN3(文法)」

⑤ 受講者の募集方法

チラシを作成し、市役所、ブラジル人学校、ブラジル人の多く利用するスーパーやお店に置いてもらい、配布した。

⑥ 受講者の総数 12人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 12人)

⑦ 開催時間数(回数) 43.5時間 (全29回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	5月8日 7:00~8:30	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語 (5人)	教授者1人	3級と4級のクラスに分けるため、過去問題を用意。
②	5月15日	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人	3級で使う語彙・漢字の復習

				パラグアイ・スペイン語(1人)		
③	5月22日	1.5時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(6人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	N3で使う語彙・漢字・用語のまとめ
④	5月29日	1.5時間	10人	ブラジル・ポルトガル語(9人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	3級までの文型の復習
⑤	6月5日	1.5時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(7人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	受動態のプリント(受身の作り方)
⑥	6月12日	1.5時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(7人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	漢字1課 文法1課 読解
⑦	6月19日	1.5時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(6人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	漢字2~4課 文法2・3課
⑧	6月26日	1.5時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(8人)	教授者1人	漢字5・6課 文法5・6課
⑨	7月3日	1.5時間	9人	ブラジル・ポルトガル語(8人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	漢字 実戦問題 文法 実戦問題
⑩	7月10日	1.5時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(7人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	漢字7・8課 文法7・8課
⑪	7月17日	1.5時間	9人	ブラジル・ポルトガル語(8人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	漢字9・10課 文法9・10課
⑫	7月24日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	
⑬	7月31日	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(5人)	教授者1人	
⑭	8月7日	1.5時間	3人	ブラジル・ポルトガル語(3人)	教授者1人	
⑮	8月21日	1.5時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(6人) パラグアイ・スペイン語(1人)	教授者1人	テキスト14・15課
⑯	8月28日	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(5人)	教授者1人	テキスト15課 動詞、名詞、形容詞のまとめ
⑰	9月4日	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(5人)	教授者1人	テキスト16課 可能型
⑱	9月11日	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(5人)	教授者1人	テキスト17課 ~なければならぬ、~なくてもいい
⑲	9月18日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語(4人)	教授者1人	テキスト18・19課
⑳	9月25日	1.5時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(5人)	教授者1人	テキスト20課 尊敬語・謙譲語
21	10月2日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語(4人)	教授者1人	テキスト21課 ~つもりだ ~ようだ

22	10月16日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人	テキスト22・23課
23	10月23日	1.5時間	3人	ブラジル・ポルトガル語 (3人)	教授者1人	テキスト23課 ～より～の方が ～と～とどちらが
24	10月30日	1.5時間	2人	ブラジル・ポルトガル語 (2人)	教授者1人	テキスト24課 意向形の作り方 読解
25	11月6日	1.5時間	3人	ブラジル・ポルトガル語 (3人)	教授者1人	テキスト25課 受身の作り方
26	11月13日	1.5時間	3人	ブラジル・ポルトガル語 (3人)	教授者1人	テキスト25・26・27課 未来、現在進行、過去+ところ
27	11月20日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人	テキスト27課 使役受身形
28	11月27日	1.5時間	2人	ブラジル・ポルトガル語 (2人)	教授者1人	～ほど+否定形 ～れば～ほど 文型の復習
29	12月4日	1.5時間	4人	ブラジル・ポルトガル語 (4人)	教授者1人	模擬テスト 70～80%の正解率だった

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

第13回 7月31日(土)

講師 太田理重子

実戦テストの答え合わせをしたが、よくできていた。敬語の使い方、作り方をやったが、苦手なようだった。

漢字の音読み、訓読みについて説明した。

第16回 8月28日(土)

講師 妻木砂織

読解のプリントを中心にやる。新聞を読むのグラフ—棒グラフ、折れ線グラフなどグラフの見方。日本の人口、ブラジルの人口、世界の人口など。

語彙では、牛乳と乳牛の違い、冷水(れいすい)と読むが、『お冷』という言い回しがあることを説明。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
ジアズ カリナ	ポルトガル語(ブラジル)	12年	14回	授業補助, 通訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

7月の日本語能力試験N3に2名合格(認定書のコピーを別に添付)

12月に受験した生徒の結果は以下の通りです。N5は3人受験、1人合格2人不明、N4は5人受験4人合格、1人不明。N3は、3人受験2人合格、1人不明。

② 学習者の習得状況

目標が明確だったこともあり、最後まで本講座に参加した人たちは合格の確信を持って試験に臨めたと思う。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

目に見える形で、自分たちの日本語の能力がわかるということは、生徒自身にとって、いちばんの励みになるということがわかった。最初から最後までそのモチベーションの高さには目を見張るものがあった。

N4の試験を受験した生徒によると、簡単だったので、7月にはN3に挑戦したいという声も早くも聞こえてきた。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

外国人の多い地域として、その活動に興味を持つ市民の方々の要望により、授業の見学などを企画。地域の人たちの関心を高めていく一つの方法だと考えている。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状

外国人が多い(ブラジル・中国・フィリピンなど)地域であるのに、ブラジル人以外にはこのような事業(講座)があることが、浸透していない。

b. 今後の課題

ブラジルと日本の交流だけではなく、もっと多くの国の人たちとも日本語の学習を通じて交流をはかっていきたい。また、日本人にも外国人が日本語の学習に積極的に取り組んでいる姿勢をPRしていきたい。

仕事と学習を両立させることは難しいと思うが、これまでの学習経験や学習した成果など、体験発表してもらおう機会を作っていきたい。

c. 今後の活動予定、展望

2010年度の文化庁事業で行った本講座の修了式及び修了証書(日本語能力試験に合格していれば認定書)の授与を3月にこの地域のコミュニティーセンターで行う予定。(2009年度同様、県の国際交流課及び市の地域支援課の方々の出席を要請)来年度も引き続き、日本語能力試験を目指す人たちのための講座を開催したいと望んでいる。